

自動車技術会昭和28年度春季大会開催さる

春季大会が4月26, 27, 28日の三日間にわたり行われ大盛況であった。

〔第1日〕 学術講演会

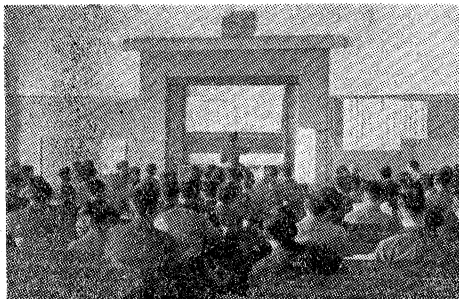
東京都立工業奨励館講堂で開会出席会員140名を数え、熱心に聴講され17時閉会した。講演題目、講演者を下記に示す。

- 開会の辞……………浅川勇吉君
 講演……………備考：◎印は講演者
- 1) いすゞ水密式四輪駆動トラックについて……………井上 滋君 (いすゞ自動車)
 - 2) 自動車用ガスタービンの展望……………高木 猛君 (日産自動車)
 - 3) 自動車用低ニッケルクロームモリブデン鋼について……………本山盛太郎君 (日産自動車)
 - 4) シリンダーライナーの高周波磨入……………◎松井幸男君・大内忠君 (いすゞ自動車)
 - 5) 鋼鉄の試験について……………山田嘉昭君 (東大生研)
 - 6) 振り重ね板ばねの基礎的研究……………伊藤哲朗君 (大同製鋼)
 - 7) 試作三枚パネ実用試験について……………真理 厚君 (東大生研)
 - 8) 実験計画法の实例(気化器の実験)……………福明 英彦君 (トヨタ)
 - 9) ハイドロリクタベットについて……………光成 卓志君 (東洋工業)
 - 10) ディーゼル機関におけるクロム鍍金ピストンリングの効果について……………安井三郎君 (いすゞ自動車)
 - 11) 過給機付いすゞDA45型ディーゼル機関について第二報……………兼坂 弘君 (いすゞ自動車)
 - 12) ガソリン発動機の低温時の始動について……………浅尾 真君 (運 研)
 - 13) 操向時に於ける前輪アライメントの変化並にアライメント測定法について……………青木和彦君 (運 研)
 - 14) 研挿用ショットプラスチング機械装置の設計並に試験例……………浅川勇吉君 (日大工)
 - 15) 制動時空走時間の測定結果……………◎近藤政市君 浅川侃二君 (東京工大)
 - 16) 回転速度トルク及び馬力の指示装置の試作……………藤本 義 雄君
 ◎小林 明君 (名大工)
 寺田 耕君
 - 17) 会高の小さい自動車の設計……………富谷竜一君 (住江製作所)
- 閉会の辞……………小林 明君
 尚 議長は、小林明君、浅川勇吉君、近藤政市君、山本峰雄君

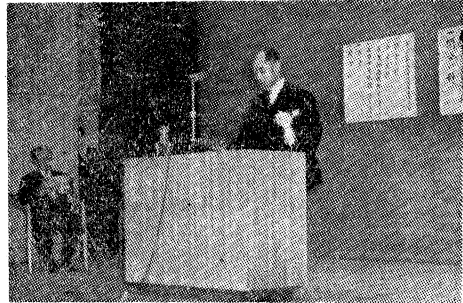
〔第2日〕 総会、慰安会

9時より日本相互ホールで開催

1. ニュース映画 ①パラマウント・ニュース(原子力)
- ②NHB・TV ニュース (いすゞ水密式自動車)
- ③富士カラフィルム (資源に挑む)



(講演会の盛況)



(楠本新会長挨拶)

2. 総会 本人出席45名、委任状888名本総会成立し吉城常任理事の司会にて議事に入る。

昭和27年度の事業報告、決算報告、28年度予算報告があり、会長選挙結果報告を確認と定款改正を議決していて新会長楠本直道の挨拶があった。

3. 功勞者表彰式

- ◎限部 一 雄君
- ◎松本 勝 年君

以上2名の会員が表彰され、記念品を贈った。

4. 第3回自動車技術会賞受賞式

渡部寅次郎委員長の審査経過報告があり、ついで浅原名誉会員の挨拶があり下記の会員が表彰された。

- ◎松下武 幸君 (いすゞ)
- 自動車製造技術における実績
- ◎高津 幸 弘君 (日本発条)
- ◎小島 正 昭君

三枚ばねの製作

閉会の辞が吉城常任理事よりあり、総会は終了した。

5. 会員家族慰安会

12時30分より同所にて約450名が参集、演芸、音楽、映画に打ち興じた。

- 1) 司 会……………三遊亭歌奴
- 2) 腹話術……………二宮 金一
- 3) 漫 才……………都上英二・東喜美江
- 4) 落 語……………三遊亭円歌

感 謝 状

昭和22年本会創立以来貴下には卒先会の指導育成にあたり終始一貫本会発展のために尽職されよく今日の隆盛を見るにいたる原動力を与えられたことは、万人のみとめるところまことに感激に堪えません。本日ここに本年度春季大会の日にあたり貴下の本会に対する功績に對し深く感謝の意を表する次第であります。

昭和28年4月27日

社団法人 自動車技術会会長楠本直道

賞 状

1. 自動車製造技術における業績

いすゞ自動車株式会社

技術部鶴見設備課長 松下武幸君

右は大正三年小学校を卒業するや、一作業員としていすゞ自動車株式会社の前身たる石川島造船所自動車部に入り爾來24年間、終始一貫して機械設備関係の業務に従事し、その間非常なる努力をもつて、独学よく数学、機構学等の基礎的専門学を習得し、業務においては常に積極的に創意工夫につとめ、優秀なる単能機械ならびに治具、工具の考案製作、機械作業の進歩改善、及び作業指等に幾多顕著なる功績を挙げて今日に及んでいる。

本会は審査の結果、その国産自動車始頭期から今日に至る自動車に刻せる功績の甚大なるを認め、第三回自動車技術会賞を授与する。

昭和28年4月27日

社団法人 自動車技術会 会長 楠木直道
自動車技術会賞審査委員会 委員長 渡部寅次郎

賞 状

1. 三枚ばねの製作

日本発条株式会社

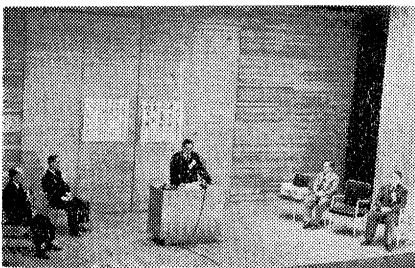
研究課 高津幸弘君

製造課 小島正昭君

右は日本発条株式会社において、重ねばね、線ばね等の研究製作の業務に従事し、とくに本会ばね技術委員会委員長の提案による三枚ばねの研究に参加するや、互に相協力して終始熱心なる研究と綿密なる計算の下に、重ねばねリーフの応力分布の均一化に成功し、これをオオタ、ダットサン、トヨベット、及びプリンスの四車種に施して試作研究の結果、極めて優秀なる成績を挙げ、これらの車の乗心地、及び振動特性を改善することに寄与するところ大なるものであつた。本会は審査の結果、その国産小型自動車の改良、進歩に及ぼせる功績甚大なるを認め、第三回自動車技術会賞を授与する。

昭和28年4月27日

社団法人 自動車技術会 会長 楠木直道
自動車技術会賞審査委員会 委員長 渡部寅次郎

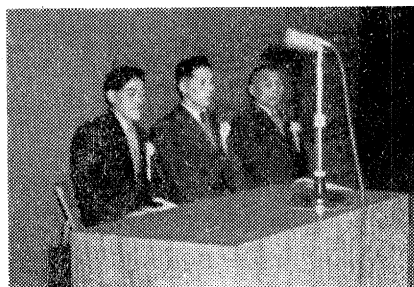


(渡部委員長審査報告)

- 5) アクロバット・ダンス.....大橋スリー・シスターズ
- 6) スウィング・ミュージック.....ブルーコート楽団
- 7) 映画.....[パリのアメリカ人](メトロ映画社製作)

6. 夜の東京観光バス

17時より51名の会員が2台のバスに分乗し、案内嬢の説明でネオンきらめく夜の東京を技術会ならではの



(自動車技術会賞受賞者 左より 高津、小島、松下の3君)

のしく巡回し21時解散した。

〔第3日〕見学会

A 班は76名参集し三菱日本重工株式会社横浜造船所次いで日本発条株式会社、関東自動車工業株式会社を見学した。B 班は67名参集し、大日本印刷株式会社、次いで本田技研工業株式会社埼玉工場、曙産業株式会社技術研究所を見学した。

「自動車ハンドブック」刊行が具体化した

故豊田喜一郎会長の遺志による記念事業として、多年懸案であった自動車ハンドブックを刊行することになり、計画が具体化し、第1回編集委員会が開催された。

内容は、数表、自動車一般、材料、燃料潤滑油及び作動油、強度計算法、性能及び試験法、要素、原動機、電装部品、駆動装置、懸架装置、車体構造、車体附属品、三輪自動車、二輪自動車、トレーラー・トラクター及びトラクター、特殊用途車輛、製造法、保守及び整備、販売、操縦法、自動車運輸、法規の各論及び自動車諸見表諸統計よりなっている。

B6で1,000頁位にまとめ、1,500円位で会員に頒布したい予定である。

編集委員長は 小林明(名大)氏で編集担当委員は、次の各氏ではる。

浅川勇吉(日大)、今井武雄(小松)、内田慶三(日産販売) 松原半二(トヨタ)、生田晴彦(帝国自工)、小田柿浩三(オオタ)、小野盛次(日本トラック協)、川田正秋(東大)、桑折謙三(運輸省)、近藤政市(工大)、佐竹達二(近畿車輛)、白井直光(機試)、築山関二(ダイハツ)、土手義雄(三菱日本)、野寺哲二郎(新日本観光)、平尾収(生研)、福川秀夫()、前田利一(日産)、水野崇治(通産省)、武藤恭二(日野)、藪健一(ダイハツ)、山崎等(ソ大)、山本峰雄群(馬大)、吉城肇(技術会)、渡部寅次郎(早大)